

産業遺産を 活かした 地域再生 フォーラム

—鉄の歴史村をモデルとして—

今年7月、全国8カ所という広範囲で「明治の産業遺産」が世界文化遺産に登録されました。

「たたら製鉄」の産業遺産と身近に暮らす私たちは、その価値を追求していくとともに産業遺産を活かした地域の活性化に取り組んでいます。

今から30年前、吉田村（現雲南市吉田町）は「鉄の歴史村」を宣言しました。

これは、「たたら製鉄」の産業遺産を、私たちが生活する風土の中で守り育て、未来に対して機能させていくためのものです。

そして今、その「鉄の歴史村」の未来構想を再構築する時を迎えています。

この度、産業遺産の価値を磨き、地域の文化力を活かす地域再生の手法を、ゲストと共に論究して参ります。

小さな地域から産業遺産を活かした未来への希望とつないでいくフォーラムです。ぜひご参加ください。

平成27年 **12月6日** 日 13:00～17:00

場所 吉田健康福祉センター（島根県雲南市吉田町吉田1066）

入場料 無料

参加定員 150名（先着順）

【お申込み・お問合せ】

NPO法人まちづくりコラボレーション島根（高木、永見）

TEL:0854-74-9058 FAX:0854-74-9057 e-mail:takaki@csri.jp

【主催】NPO法人まちづくりコラボレーション島根

【協力】全国地域ミュージアム活性化協議会／株式会社シーズ総合政策研究所

【後援】島根県、島根県教育委員会、雲南市、山陰中央新報社、中国新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞大阪本社松江支局、島根日日新聞社、BSS山陰放送、日本海テレビ 他

プログラム

13:00～ ● 開会行事

13:15～ ● 鉄の歴史村の建設と意義

【報告者】 藤原 洋氏
(全国地域ミュージアム活性化協議会 事務局長理事)

13:35～ ● 基調講演 「産業遺産の保存と公開」

【講師】 矢野 和之氏
(日本イコモス国内委員会 事務局長/榊文化財保存計画協会 代表取締役)

14:25～ ● パネルディスカッション
「文化力の進化と地域再生」

【パネリスト】
市村 次夫氏 (榊小布施堂 代表取締役)
松岡 恭子氏 (建築家/榊スピングラス・アーキテツク 代表取締役)

藤原 孝行氏 (島根県教育委員会 教育長)

【コーディネーター】

藤原 洋氏

15:45～ ● (休憩)

15:55～ ● パネルディスカッション

「国際化の中のまちづくり

～世界と対話する『鉄の歴史村』～」

【パネリスト】

佐々木 晶子氏 (日本貿易振興機構アジア経済研究所 研究マネジメント職)

久保田 利恵子氏 (国立環境研究所 高度技能専門員)

峠 理恵氏 (財鉄の歴史村地域振興事業団 事務局長)

高木 朋美氏 (榊鉄の歴史村地域文化研究所 代表理事)

【コーディネーター】

藤原 啓氏 (榊シーズ総合政策研究所 代表取締役社長)

16:55～ ● 閉会あいさつ

出演者プロフィール



矢野 和之氏

(日本イコモス国内委員会事務局長/榊文化財保存計画協会 代表取締役)
1946年熊本県生まれ。1971年武蔵工業大学大学院工学研究科修士課程修了。1977年博士課程単位取得退学。文化財保存計画の手段を研究し、個々の文化財に応じた保存修理を实践する技術者集団の代表として、各地の文化財建造物保存修理、遺跡保存整備等、国内外プロジェクトに参画。駒澤大学文学部非常勤講師。武蔵工業大学大学院非常勤講師。



市村 次夫氏

(株式会社小布施堂 代表取締役)
1948年長野県生まれ。1971年慶応義塾大学卒業。1980年より榊小布施堂代表取締役、榊一市村酒造場代表取締役に就任。小布施町の歴史に着目し、新しい発想によるまちづくりに取り組む。町並み修景事業、国際北斎会議in小布施の開催、「小布施セッション」などを展開。財北斎館理事。前長野県人事委員会委員長。元長野県都市計画審議会会長。



松岡 恭子氏

(建築家/株式会社スピングラス・アーキテツク代表取締役)
1987年九州大学工学部建築学科卒業後、1990年東京理科大学大学院修士課程、1991年コロンビア大学大学院修士課程を修了。1992年にマツオカ・ワン・アーキテツクをニューヨークに設立し2003年に榊スピングラス・アーキテツクに改称。集合住宅や商業建築、土木構造物、さらにはプロダクトデザインまで行う。福岡県文化賞、グッドデザイン賞、建築九州賞など受賞多数。



藤原 孝行氏

(島根県教育委員会 教育長)
1955年島根県生まれ。1978年京都大学経済学部卒業。同年、島根県職員採用。地方課振興係として、まちむら活性化対策事業を推進し、その後国際文化事業等を担当。2003年政策企画局秘書課長。2007年総務部総務課長。2009年総務部次長。2010年より政策企画局長を経て2014年より現職。



藤原 洋氏

(全国地域ミュージアム活性化協議会 事務局長理事)
1944年島根県生まれ。1963年吉田村役場入庁。島根県吉田村で1984年から「鉄の歴史村づくり」を推進し、財鉄の歴史村地域振興事業団及び第3セクター・榊吉田ふるさと村を設立。その後、榊シーズ総合政策研究所を設立。2011年には全国地域ミュージアム活性化協議会を設立し、事務局長理事に就任。現在、アイアンブリッジ・ゴージミュージアムとの新たな交流の準備を進めている。



佐々木 晶子氏

(日本貿易振興機構(JETRO)アジア経済研究所 研究連携推進課(研究マネジメント職))
宮城県生まれ。2007年国際基督教大学社会科学科卒業(行政学士)。2005年ミュンスター大学社会学部政治行政学科(ドイツ)留学。2009年スウェーデン王立工科大学大学院建築・建築環境学部修士課程卒業(修士)。その後、国内のシンクタンク会社において、広島大学留学生の研修事業コーディネーターやインバウンド観光調査業務等を担当。2013年より現職。



久保田 利恵子氏

(国立環境研究所 高度技能専門員)
東京都生まれ。2004年横浜市立大学商学部経済学科卒業(経済学士)、国際協力機構(JICA)で途上国の経済開発や観光振興、博物館運営、街並み保全等の人材育成に従事。2009年イタリア・トリノ大学政治学研究科修士課程卒業(修士)。2013年立命館大学理工学研究科総合理工学専攻博士後期課程満期退学。ユネスコ世界遺産センターで文化・自然遺産の登録実務に携わる。2011年より現職。世界遺産等観光地における廃棄物対策についても調査を進めている。



峠 理恵氏

(公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団 事務局長)
島根県生まれ。1989年より財鉄の歴史村地域振興事業団の職員となつて以降、博物館施設の管理運営やフォーラムの開催、体験活動、連携事業等を含め、当法人の運営全般に事務局として携わる。2002年より事務局次長。2005年より事務局長。2014年より兼任して理事を務める。



高木 朋美氏

(一般社団法人鉄の歴史村地域文化研究所 代表理事)
宮崎県生まれ。1994年中央大学文学部卒業。岐阜県や福岡県において、中山間地の地域博物館の調査から展示及び運営開始業務に従事。2005年より「鉄の歴史村」における住民活動や交流推進事業に関する事務局を担当。2013年に榊鉄の歴史村地域文化研究所を設立し、代表理事に就任。学芸員。国内旅行業務取扱管理者。



藤原 啓氏

(株式会社シーズ総合政策研究所 代表取締役社長)
1966年島根県生まれ。明治学院大学法学部を卒業後、出版社勤務を経て1991年に島根県へUターン。1999年榊シーズ総合政策研究所を共同経営者と共に設立し、専務取締役に就任。2011年より現職。この間、地域資源活用ビジネスや産業人材育成、社会的起業の支援活動等を展開。中国地域中小企業整備基金機構地域活性化アドバイザー。中国地域CBSB推進協議会幹事。

[参加申込] TEL : 0854-74-9058 FAX : 0854-74-9057

お名前 (ふりがな)

お電話番号

Eメール

ご住所 〒

参加人数

名

※ご記入いただいた個人情報、当フォーラムに関してのみ使用させていただきます。